えひめ日本語ネットワークNEWS

第8号　2019. 7

えひめ日本語ネットワークは、ボランティア日本語教師育成、外国の方への日本語学習支援、国際交流を通して、住みよい町づくりのお手伝いを目的として活動しているボランティア団体です。今年度は17人の新会員を迎え、活動を開始しました。

ミニ歓迎会

６月２２日(土) 松山市総合福祉センターボランティア研修室で、歓迎会を開催しました。参加者の方々の海外滞在体験や国際交流、ボランティア活動、さらに新入会の方の「在県外国人家族の手助けになりたい」という意欲に触れ、日本語指導への思いを新たにすることができました。（藤井宣恵）

MIC日本語教室

去る５月14日、MIC日本語クラス(初級Ⅰ)で、２回目の授業を行う機会をいただきました。連休明けだったこともあり、参加者３名と少なめでしたが、日本語レベルや文化背景が異なる学習者を前に、時折自分を落ち着かせながら、なんとか90分の授業を終えることができました。

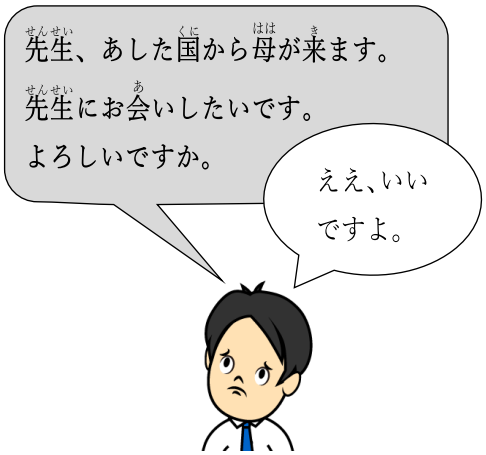
前回は、学習者からの質問への対応のほか時間配分に気を取られるあまり、発話の時間を十分確保できないなど、反省点ばかりでした。前回に引き続き、宇野美登里先生にご指導いただいたほか、ボランティア講座の仲間にもアドバイスをもらいながら、説明の仕方を改善するなど準備を進めてきました。今後も分かりやすい授業を目指し、日本語の学習を進めていきたいです。（今井元子）

若草日本語教室

5月の若草日本語教室は、ベトナム、台湾、中国、インドネシア、ネパール、韓国、フランス、ハンガリーから学習者19名を迎えて、国際色豊かな教室になりました。

日本語を母語としない学習者にとって日本語のどこが一番難しいか聞いてみました。ネパール出身のAさんは今年3月専門学校を卒業、日本滞在歴4年。日本語での意志疎通に問題はないのですが、非漢字圏出身のAさんは日本語の漢字と語彙の多さにとても苦労しているそうです。例えば、一つのことを言うのに「ご飯、めし、食事、ランチ」などいくつもの言い方があります。漢字は数が多いだけでなく読み方もたくさんあります。ちなみに、Aさんが目指すN2合格には漢字約1000字と6000語の語彙が必要です。

1年前にフランスから来日した留学生Bさんは漢字が大好き、初級レベルの読み書きには不自由しない稀な能力の持ち主です。Bさんにとって苦手なのは敬語です。アルバイト先の上司から「敬語は使わなくていいから『です・ます』で話しなさい。」とアドバイスされたそうです。尊敬語と謙譲語の使い分けを間違えたら、相手に不快な思いをさせるのが敬語の厄介なところです。まずは「です・ます体」で話すことから始めてみましょう。（澤田洋子・塩入愛子）



イラスト：『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版』より

外国人技能実習生を担当して

現在、ベトナム人実習生2人を担当しています。彼女たちが日本語に接する機会といえば、仕事での指示を受ける場面でしょうか。ほとんど日本語を話す機会がないのが現実です。私が驚いたのは、彼女たちはJLPTの問題などはよく解けているのに、簡単な内容のコミュニケーションができないことでした。話しかけた時のキョトンとした顔は今でも忘れられません。

この教室はJLPT対策の教室です。受験するレベルの知識は習得しなければなりません。でも、例えば職場で不条理な立場に立たされたときなど、ちゃんと自分の考えや思いを話せるでしょうか。これは、在住外国人にとっても実習生にとっても、なかなか難しいことです。まずは、“思い”を話すことの大切さをわかってもらうところから始めようと思っています。(小原千秋)

ボランティア日本語教師育成講座

日本語教育に興味を持ったのは、EPICの「えひめと世界をつなぐ日本語教育2018」に参加したことがきっかけです。その後、愛媛大学のJ－Supportとして留学生のサポートに参加しています。自分には当たり前に備わっている日本語を、改めて見つめ直し、母国を離れてきている外国人とコミュニケーションを取りながら、語学として教えることに面白さを感じます。ちょうど子育てが一段落したこの時期に「日本語教育」に出会えたことは、後半の人生に縁があると思い、こちらの「日本語教師育成講座」で学び始めました。予想以上に受講生が多くて毎回励まされます。私は地元に学習塾を開き12年間、幼児・小学生に指導してまいりました。現在、全国的に、日本語が分からず授業が理解できない無支援状態の外国籍児童が増えてきています。もっと学びを深め、将来はこうした子どもたちの力になりたいと考えています。どうぞ宜しくお願いします。(塩梅愛美)

学びのコーナー

学習者からの質問

「～てある」「～ておく」はどちらも目的のための準備と習いましたが使い分けが分かりません。

上記の質問にどのように答えたらいいでしょうか。

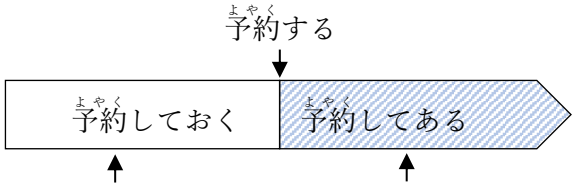
～てある	・ある目的のための準備(料理はもう作ってある) ・放置(ゴミが捨ててある)
～ておく	・ある目的のための準備(明日のテストに備えて勉強しておく) ・放置(駅前に自転車を止めておく)

意味的にはどちらも準備と放置。

「主語・主題」、「動詞の制限」の比較

	主語・主題	構　文	動　詞
～てある	もの・作業	ものが他動詞～てある	他動詞 一部自動詞(寝てある)
～ておく	人	人がものを他動詞～ておく 人が自動詞～ておく	他動詞 自動詞

発話の時点



「～てある」「～ておく」の例文を挙げてみましょう。

～ておく

例：スピーチの原稿を書いておく

～てある

例：花が飾ってある

(宇野 美登里)

問い合わせ先：えひめ日本語ネットワーク事務局

Email ： ehime-nihongo@nifty.com